

大学院農学研究科生物環境学専攻環境保全学コース（教授）の公募期間延長について

1. 対 象 者

(1) 所 属 ・ 職 名 : 大学院農学研究科 生物環境学専攻 教授 1名
教 育 組 織 : 環境保全学コース

(2) 教 育 分 野 : 環境計測学

人間活動に伴って生成する有害化学物質の環境汚染に着目し、微量分析に要求される高感度性、簡便性、迅速性の追求と多成分同時分析法及び状態分析法等の分析手法の開発を通して、有害化学物質による汚染の現状、分布とゆくえ及び汚染源の解明さらに改善方法等についての教育研究を行う。また、廃棄物処理・資源循環に伴う有害物質の発生挙動解析やリスク評価、未利用バイオマスの資源化など循環型社会の構築推進に係わる教育研究を行う。

(3) 資 格 条 件 : ア. 博士の学位を有する者

イ. 環境中の化学物質、特に、残留性有機汚染物質等有害化学物質の微量分析法の開発、環境動態の解明、および、汚染評価等に関する顕著な研究実績を有する者

ウ. 有害化学物質の微量計測法の開発や環境モニタリング等に関連する新たな研究プロジェクトに、環境保全学コースや環境先端技術センターの教員と協力し、先導して取り組むことのできる者

エ. 環境保全学コースおよび生物環境学専攻の管理運営と教育に、積極的に取り組むことのできる者

オ. 決定次第、直ちに着任可能な者

(4) 担当授業科目 : 大学院: 応用環境化学, 環境保全学特論 (分担), 研究プレゼンテーションⅢ (分担), インターンシップ (分担), 環境保全学特別演習Ⅰ (分担), 環境保全学特別演習Ⅱ (分担), 環境保全学特別実験Ⅰ (分担), 環境保全学特別実験Ⅱ (分担)

学 部: 環境化学, 環境保全学概論 (分担), 化学 (分担), 環境保全学概論 (分担), 水環境先端分析学 (分担), 資源再生利用科学 (分担), 生物環境保全学実験Ⅰ (分担), 環境保全セミナー (分担), 環境計測学実験 (分担), 卒業論文 (分担), および, その他共通教育, 教職科目

2. 提 出 書 類

(1) 履 歴 書 : 所定様式 1通

(所定様式は<http://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>からダウンロードしてください。)

(2) 研究業績等目録 : A4版横書き (論文別刷り, 著書及び参考資料について, 各1部添付)

学位論文—題目, 年

著 書—書名 (編, 単著, 共著, 分担), 総頁数, 著者名 (分担項目, 頁), 出版社, 発行年

学術論文—全著者, 年, 題目, 誌名, 巻 (号), 通頁

参考業績—学術論文に準ずるもの, 特許・外部資金獲得実績等
なお, 口頭発表は件数のみで可

教育実績—担当授業科目, 場所, 期間

(3) 現在までの教育研究内容の要約 (1500字程度)
着任後の教育研究に対する抱負 (1000字程度)

(4) その他参考となる資料

3. 応 募 期 日 : 平成28年10月2日 (当日消印有効)

(書留等確実な方法を用い, 当方から連絡する場合の宛先, 電話番号及びメールアドレスを明記のこと)

4. 送 り 先 : 〒790-8566松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長
(封筒に「環境計測学教育分野」と朱書のこと)

5. 選 考 方 法 : 一次: 書類選考

二次: 面接に加え, セミナーまたは模擬授業

(但し, 旅費等の経費は自己負担とする)

6. 問い合わせ先 : 農学部総務チーム 電話 (089) 946-9803
FAX (089) 977-4364
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp

7. 公募書類の送付先 : 所 定

[付 記]

環境保全学コースの状況 (平成28年6月3日現在)

専任教員: 教授3, 准教授4

[うち, 環境計測学教育分野 准教授1 (高橋 真)]

兼任教員: 教授2, 准教授1, 助教1

寄附講座教員: 教授1, 准教授1, 助教1

- ※ 個人情報保護のため, 応募書類に記載された個人情報は, 選考及び採用以外の目的には使用しません。また, 応募の秘密は厳守します。
なお, 選考の結果, 採用される方の氏名を愛媛大学ホームページで公表させていただきます。
- ※ 男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮し, 教員の選考を行います。